

## 平成18年3月期 第1四半期財務・業績の概況(連結)

上場会社名 西日本旅客鉄道株式会社

コード番号 9021

(URL <http://www.westjr.co.jp>)代表者 代表取締役社長 垣内 剛  
問合せ先責任者 広報室長 来島達夫

上場取引所:東 大 名 福

本社所在都道府県

大阪府

TEL(06)6375-8889

## 1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無  
 ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無  
 ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有  
 連結(新規)3社 (除外)0社

## 2. 平成18年3月期第1四半期財務・業績の概況(平成17年4月1日～平成17年6月30日)

## (1) 経営成績(連結)の進捗状況

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年3月期第1四半期	293,705	0.5	34,012	8.7	24,754	16.7	13,867	4.0
17年3月期第1四半期	292,269	2.3	31,295	22.2	21,206	40.4	13,340	40.5
(参考)17年3月期	1,220,847		133,100		95,933		58,996	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
18年3月期第1四半期	6,936.79		—	
17年3月期第1四半期	6,673.10		—	
(参考)17年3月期	29,462.96		—	

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

## (2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年3月期第1四半期	2,300,899	531,205	23.1	265,720.39
17年3月期第1四半期	2,331,464	483,697	20.7	241,955.71
(参考)17年3月期	2,364,322	524,357	22.2	262,232.61

## 【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18年3月期第1四半期	△ 995	△ 5,668	△ 1,507	54,117
17年3月期第1四半期	△ 19,577	△ 28,028	11,940	34,990
(参考)17年3月期	142,970	△ 84,918	△ 66,480	62,241

## [参考]

平成18年3月期の連結業績予想(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
中間期	605,500	55,200	29,100	—
通期	1,232,500	103,300	57,600	28,764.54

平成18年3月期の個別業績予想(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
中間期	425,000	48,000	26,000	—
通期	849,000	82,000	49,000	24,500.00

本資料における上記の予想を含む見通しの記述は、発表日現在に入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績・結果は予想数値あるいは見通しと異なる場合があります。なお、上記業績予想は平成17年4月27日発表の通期業績予想から変更していません。

## [添付資料]

### (1) 経営成績及び財政状態

当社は、平成 17 年 4 月 25 日、福知山線塚口・尼崎間における快速電車の脱線により、数多くのお客様を死傷させるという、極めて重大な事故を惹き起こしました。

ご遺族の皆様や負傷されたお客様をはじめ、列車が衝突したマンションにお住まいの皆様に対しましては、深くお詫び申し上げますとともに、今後とも誠意をもってできる限り対応させていただき所存でございます。

お客様の安全を守るべき鉄道事業者として、今回の事故は決してあってはならないものであります。当社といたしましては、このような事故を二度と起こさないため、平成 17 年 5 月 31 日に国土交通大臣へ報告した「安全性向上計画」に基づき、経営に携わる者が自ら先頭に立ち、強い意志とリーダーシップをもって、全力を挙げて安全を最優先する企業風土の構築に取り組み、「安全第一」を積み重ねることにより、お客様をはじめとする多くの方々からの信頼回復に努めるとともに、株主の皆様の負託にお応えしていく所存です。

「安全性向上計画」の行動計画には、風土・価値観の変革に向けた取り組み、「事故の芽」等の報告に対する対応方の是正、教育・指導のあり方の見直し、情報伝達・共有のあり方の見直し、事故再発防止に向けた取り組み、運行面・設備面での安全対策、新たな経営理念の策定と全社員への浸透、安全を支える投資計画の実行などを掲げており、こうした内容を確実に実行してまいります。

#### 1. 経営成績

##### (1) 当第 1 四半期の概況

平成 17 年度第 1 四半期の連結経営成績は、次のとおりです。

売上高	2,937 億円
営業利益	340 億円
経常利益	247 億円
四半期純利益	138 億円

なお、当第 1 四半期より、(株)レールテック、西日本電気テック(株)、JR 西日本フィナンシャルマネジメント(株)の 3 社を新たに連結子会社に加えております。

これをセグメント別に示すと次のとおりとなります。

##### 運輸業

鉄道事業につきましては、6 月からの 3 カ月間を「緊急安全点検期間」と定め、本社役員及び支社長等が現業機関に赴き、社員と直接意見交換を行う「緊急安全ミーティング」を開催し、安全が最優先であるとの意識の醸成に努めるとともに、社外有識者からなる「安全諮問委員会」を設置し、6 月に第 1 回の委員会を開催するなど「安全性向上計画」の着実な遂行に取り組んでまいりました。また、平成 16 年 10 月に発生した新潟県中越地震による上越新幹線脱線事故を踏まえ、当社においても引き続き高架橋柱の耐震補強工事など地震対策を推進してまいりました。

営業面につきましては、「のぞみ早特往復きっぷ」等の基幹商品や愛知万博に合わせて設定した「愛知万博往復きっぷ」の発売、3 月のダイヤ改正内容や地域の観光素材等、列車及び観光の基本情報の PR 等を実施し、利用促進に努めてまいりました。

バス事業では、夜行の高速バスの競争が激化するなか、愛知万博への直行便の運行などによりご利用の拡大を図りました。

しかしながら、福知山線列車脱線事故により、4月25日から6月18日まで尼崎・宝塚間が不通であったこと等により、営業収益は前年同期比0.7%減の2,056億円となりました。また、営業利益は前年同期比7.5%増の285億円となりました。

#### 流通業

駅力向上のための「NexStation Plan(ネクステーションプラン)」の取り組みとして、「デイリーイン石山」及び「デイリーイン徳山」などをオープンし、駅構内及び周辺での事業拡充に努めました。

以上の結果、営業収益は前年同期並みの570億円、営業利益は前年同期比12.7%減の11億円となりました。

#### 不動産業

分譲マンション「ジェイグラン甲子園口」及び「シティタワーグラン天王寺」の販売を開始したほか、福井駅高架下に「生活利便性創造」をコンセプトとするショッピングセンター「プリズム福井」をオープンしました。

以上の結果、営業収益は前年同期比0.8%増の173億円、営業利益は前年同期比4.0%増の48億円となりました。

#### その他事業

ホテル業において、インターネット予約の拡大などによる宿泊収入の拡大に努めたほか、旅行業においては、創業100周年を契機とした記念商品の発売などにより、海外旅行の自社企画商品が好調に推移しました。

なお、その他事業に区分してあります旅行業や工事業については、一般的に収入が年度の後半に偏るといった季節変動があります。

以上の結果、営業収益は前年同期比2.0%増の516億円となり、営業損失は32.7%減の8億円となりました。

## (2) 通期の見通し

福知山線塚口・尼崎間における快速電車の脱線事故により、相当の費用が見込まれますが、現時点においては、今後必要な金額等を合理的に見積もることが困難であることから、業績予想は、平成17年4月27日に公表しました内容を変更せず、売上高1兆2,325億円、営業利益1,384億円、経常利益1,033億円、当期純利益576億円としております。

## 2. 財政状態

### (1) 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益を230億円計上いたしましたが、法人税や賞与の支払いなどにより、営業活動によるキャッシュ・フローは9億円の流出となりました。

(2) 投資活動によるキャッシュ・フロー

鉄道事業における安全安定輸送対策、輸送力改善などの設備投資を実施したことなどから、投資活動によるキャッシュ・フローは56億円の流出となりました。

(3) 財務活動によるキャッシュ・フロー

長期債務の削減や配当金の支払いなどにより、財務活動によるキャッシュ・フローは15億円の流出となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第1四半期末残高は、前期末に比べ81億円減の541億円となりました。

## (2) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当第1四半期連結会計期間末 (平成17年6月30日現在)	前連結会計年度末 (平成17年3月31日現在)	増 減	前第1四半期連結会計期間末 (平成16年6月30日現在)
( 資 産 の 部 )				
I 流 動 資 産	180,819	214,120	33,300	155,497
1. 現 金 及 び 預 金	54,777	62,901	8,124	35,650
2. 未 収 金	31,824	42,911	11,087	32,368
3. 繰 延 税 金 資 産	11,706	19,079	7,372	15,511
4. そ の 他	82,510	89,227	6,717	71,967
固 定 資 産	2,120,038	2,150,158	30,119	2,175,964
A. 有 形 固 定 資 産 等	1,967,644	2,002,218	34,574	2,032,208
B. 投 資 そ の 他 の 資 産	152,394	147,939	4,454	143,755
1. 投 資 有 価 証 券	54,028	53,695	333	53,378
2. 繰 延 税 金 資 産	76,438	73,014	3,423	67,233
3. そ の 他	21,927	21,229	698	23,143
繰 延 資 産	41	44	2	3
資 産 合 計	2,300,899	2,364,322	63,422	2,331,464

(単位：百万円)

科 目	当第1四半期連結会計期間末 (平成17年6月30日現在)	前連結会計年度末 (平成17年3月31日現在)	増 減	前第1四半期連結会計期間末 (平成16年6月30日現在)
( 負 債 の 部 )				
I 流 動 負 債	428,835	497,263	68,428	429,964
1. 1年以内に返済する長期借入金等	68,630	69,511	881	54,399
2. 未 払 金	39,047	92,964	53,917	50,536
3. そ の 他	321,157	334,787	13,629	325,027
固 定 負 債	1,315,403	1,317,224	1,821	1,394,209
1. 社 債 ・ 長 期 借 入 金 等	1,008,585	1,012,156	3,571	1,079,095
2. 退 職 給 付 引 当 金	203,006	199,779	3,227	207,353
3. そ の 他	103,811	105,288	1,476	107,759
負 債 合 計	1,744,238	1,814,488	70,250	1,824,173
少 数 株 主 持 分	25,455	25,476	20	23,594
資 本 金	100,000	100,000	-	100,000
資 本 剰 余 金	55,000	55,000	-	55,000
利 益 剰 余 金	372,037	365,303	6,733	324,638
その他有価証券評価差額金	4,495	4,381	114	4,386
自 己 株 式	327	327	-	327
資 本 合 計	531,205	524,357	6,847	483,697
負 債 、 少 数 株 主 持 分 及 び 資 本 合 計	2,300,899	2,364,322	63,422	2,331,464

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

### (3) 連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当第1四半期連結会計期間	前第1四半期連結会計期間	増 減	前連結会計年度
	平成17年4月1日から 平成17年6月30日まで	平成16年4月1日から 平成16年6月30日まで		平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで
営 業 収 益	293,705	292,269	1,435	1,220,847
営 業 費	259,692	260,973	1,280	1,087,747
営 業 利 益	34,012	31,295	2,716	133,100
営 業 外 収 益	970	776	194	6,284
営 業 外 費 用	10,228	10,865	637	43,451
経 常 利 益	24,754	21,206	3,547	95,933
特 別 利 益	17,525	5,621	11,904	79,204
特 別 損 失	19,210	2,606	16,604	69,725
税金等調整前四半期(当期)純利益	23,069	24,221	1,152	105,411
法 人 税 等	9,102	10,380	1,277	43,987
少 数 株 主 利 益	99	500	401	2,428
四 半 期 ( 当 期 ) 純 利 益	13,867	13,340	527	58,996

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

### (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当第1四半期連結会計期間	前第1四半期連結会計期間	増 減	前連結会計年度
	平成17年4月1日から 平成17年6月30日まで	平成16年4月1日から 平成16年6月30日まで		平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	995	19,577	18,582	142,970
投資活動によるキャッシュ・フロー	5,668	28,028	22,360	84,918
1. 固定資産の取得による支出	30,714	38,052	7,338	145,371
2. そ の 他	25,045	10,023	15,022	60,452
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,507	11,940	13,448	66,480
1. 長期債務の増減額	4,453	5,051	598	56,878
2. そ の 他	2,945	16,992	14,047	9,602
現金及び現金同等物の増減	8,171	35,665	27,493	8,427
現金及び現金同等物の期首残高	62,241	70,655	8,413	70,655
新規連結等に伴う現金及び現金同等物の増減額	47	-	47	14
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	54,117	34,990	19,127	62,241

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## (5)セグメント情報

### 事業の種類別セグメント情報

前第1四半期連結会計期間(平成16年4月1日~平成16年6月30日)

(単位:百万円)

	運輸業	流通業	不動産業	その他事業	計	消去又は 全社	連結
営業収益	207,095	57,018	17,166	50,647	331,927	(39,657)	292,269
営業費用	180,498	55,699	12,465	51,966	300,629	(39,655)	260,973
営業利益	26,597	1,319	4,700	1,319	31,298	(2)	31,295

当第1四半期連結会計期間(平成17年4月1日~平成17年6月30日)

(単位:百万円)

	運輸業	流通業	不動産業	その他事業	計	消去又は 全社	連結
営業収益	205,680	57,034	17,300	51,638	331,653	(37,948)	293,705
営業費用	177,100	55,883	12,410	52,525	297,920	(38,227)	259,692
営業利益	28,579	1,151	4,889	887	33,733	279	34,012

前連結会計年度(平成16年4月1日~平成17年3月31日)

(単位:百万円)

	運輸業	流通業	不動産業	その他事業	計	消去又は 全社	連結
営業収益	846,002	232,862	70,891	259,598	1,409,354	(188,507)	1,220,847
営業費用	746,636	227,625	51,969	249,413	1,275,644	(187,897)	1,087,747
営業利益	99,365	5,237	18,922	10,185	133,710	(609)	133,100

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 損益計算書(連結)

(単位:億円)

項目	平成17年度 第1四半期	平成16年度 第1四半期	増減	備考
営業収益	< 1.43 > 2,937	< 1.41 > 2,922	14	当 社 運輸収入減 子会社 旅行業、物販飲食業、百貨店業増
営業費用	2,596	2,609	12	
営業利益	340	312	27	当 社 人件費減 子会社 売上原価等の増
営業外損益	92	100	8	
経常利益	247	212	35	当 社 支払利息減
特別損益	16	30	46	
税引前四半期純利益	230	242	11	
法人税等	91	103	12	
少数株主損益	0	5	4	
四半期純利益	< 1.10 > 138	< 1.17 > 133	5	

(注) &lt; &gt; は連単倍率を示しております。

## セグメント別実績

(単位:億円)

項目	平成17年度 第1四半期	平成16年度 第1四半期	増減	備考	
運輸業	営業収益	2,056	2,070	14	・ 鉄道事業 運輸収入減
	営業利益	285	265	19	
流通業	営業収益	570	570	0	・ 物販飲食業増、百貨店業増、卸売業減
	営業利益	11	13	1	
不動産業	営業収益	173	171	1	・ 不動産販売賃貸業増
	営業利益	48	47	1	
その他 事業	営業収益	516	506	9	・ 新規連結による増、旅行業増
	営業利益	8	13	4	



# 貸借対照表(連結)

(単位:億円)

	科 目	平成 17 年度 第 1 四半期末	平成 16 年度 期 末	増 減	備 考																				
資 産 の 部	<b>流 動 資 産</b>	1,808	2,141	333	短期貸付金 101 現 預 金 81 繰延税金資産 73																				
	<b>固 定 資 産</b>	21,200	21,501	301																					
	有形固定資産等	19,141	19,329	188	資産増減																				
					<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="width: 10%;">期 首</th> <th style="width: 10%;">増 加</th> <th style="width: 10%;">減 少</th> <th style="width: 10%;">期 末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当 社</td> <td style="text-align: right;">16,838</td> <td style="text-align: right;">230</td> <td style="text-align: right;">410</td> <td style="text-align: right;">16,657</td> </tr> <tr> <td>子会社</td> <td style="text-align: right;">2,490</td> <td style="text-align: right;">42</td> <td style="text-align: right;">50</td> <td style="text-align: right;">2,483</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td style="text-align: right;">19,329</td> <td style="text-align: right;">272</td> <td style="text-align: right;">461</td> <td style="text-align: right;">19,141</td> </tr> </tbody> </table>		期 首	増 加	減 少	期 末	当 社	16,838	230	410	16,657	子会社	2,490	42	50	2,483	合 計	19,329	272	461	19,141
		期 首	増 加	減 少	期 末																				
	当 社	16,838	230	410	16,657																				
	子会社	2,490	42	50	2,483																				
	合 計	19,329	272	461	19,141																				
	建設仮勘定	535	692	157																					
	投資その他の資産	1,523	1,479	44	繰延税金資産 34																				
<b>合 計</b>	<b>23,008</b>	<b>23,643</b>	<b>634</b>																						

	科 目	平成 17 年度 第 1 四半期末	平成 16 年度 期 末	増 減	備 考																
負 債 ・ 少 数 株 主 持 分 及 び 資 本 の 部	<b>流 動 負 債</b>	4,288	4,972	684																	
	1年以内長期借入金等	686	695	8																	
	未 払 金 等	3,602	4,277	675	未 払 金 539 賞 与 引 当 金 180 短 期 借 入 金 98																
	<b>固 定 負 債</b>	13,154	13,172	18	長期債務残高																
	社債・長期借入金等	10,085	10,121	35																	
	退職給付引当金	2,030	1,997	32																	
	預り保証金等	1,038	1,052	14																	
	<b>負 債 合 計</b>	<b>17,442</b>	<b>18,144</b>	<b>702</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="width: 10%;">H17第1末</th> <th style="width: 10%;">H16末</th> <th style="width: 10%;">増 減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当 社</td> <td style="text-align: right;">10,115</td> <td style="text-align: right;">10,142</td> <td style="text-align: right;">26</td> </tr> <tr> <td>子会社</td> <td style="text-align: right;">656</td> <td style="text-align: right;">674</td> <td style="text-align: right;">17</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td style="text-align: right;">10,772</td> <td style="text-align: right;">10,816</td> <td style="text-align: right;">44</td> </tr> </tbody> </table>		H17第1末	H16末	増 減	当 社	10,115	10,142	26	子会社	656	674	17	合 計	10,772	10,816	44
		H17第1末	H16末	増 減																	
	当 社	10,115	10,142	26																	
子会社	656	674	17																		
合 計	10,772	10,816	44																		
<b>少 数 株 主 持 分</b>	<b>254</b>	<b>254</b>	<b>0</b>																		
資 本 金	1,000	1,000																			
資 本 剰 余 金	550	550																			
利 益 剰 余 金	3,720	3,653	67	<table style="border: none;"> <tr> <td style="border: none;">{</td> <td style="border: none;">配 当 金 等 71</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">}</td> <td style="border: none;">配 当 期 利 益 138</td> </tr> </table>	{	配 当 金 等 71	}	配 当 期 利 益 138													
{	配 当 金 等 71																				
}	配 当 期 利 益 138																				
その他有価証券評価差額金	44	43	1																		
自 己 株 式	3	3																			
<b>資 本 合 計</b>	<b>5,312</b>	<b>5,243</b>	<b>68</b>																		
<b>合 計</b>	<b>23,008</b>	<b>23,643</b>	<b>634</b>																		

## キャッシュ・フロー計算書 (連結)

(単位：億円)

項 目		平成 17 年度 第 1 四 半 期	平成 16 年度 第 1 四 半 期	増 減	備 考 【17年度の主な内訳】												
営 業 活 動	税金等調整前四半期純利益	230	242	11													
	減 価 償 却 費	269	274	4													
	工事負担金等圧縮損	169	19	149													
	退職給付引当金の増減額	30	15	46													
	賞与引当金の増減額	181	186	5													
	工事負担金等受入額	169	20	149													
	法人税等支払額	236	286	50													
	その他の他	122	222	99													
	<b>計 (A)</b>	<b>9</b>	<b>195</b>	<b>185</b>													
投 資 活 動	固定資産の取得による支出	307	380	73	設備投資												
	工事負担金等受入額	159	99	60													
	その他の他	91	1	89													
	<b>計 (B)</b>	<b>56</b>	<b>280</b>	<b>223</b>													
<b>フリー・キャッシュ・フロー (C=A+B)</b>		<b>66</b>	<b>476</b>	<b>409</b>													
財 務 活 動	長期債務の増減額	44	50	5	【長期債務残高】 <table border="1" style="font-size: small; width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>H17第1</th> <th>H16末</th> <th>増減</th> <th>H16第1</th> <th>H15末</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: right;">10,772</td> <td style="text-align: right;">10,816</td> <td style="text-align: right;">44</td> <td style="text-align: right;">11,334</td> <td style="text-align: right;">11,385</td> <td style="text-align: right;">50</td> </tr> </tbody> </table> 社債、長期借入金 長期借入金返済	H17第1	H16末	増減	H16第1	H15末	増減	10,772	10,816	44	11,334	11,385	50
	H17第1	H16末	増減	H16第1		H15末	増減										
	10,772	10,816	44	11,334		11,385	50										
	長期債務の増加額	-	420	420													
	長期債務の減少額	44	470	425													
	短期借入金の増減額	15	1	16													
配当金の支払額	67	76	9														
その他の他	81	248	166														
	<b>計 (D)</b>	<b>15</b>	<b>119</b>	<b>134</b>													
<b>小 計</b>		<b>81</b>	<b>356</b>	<b>274</b>													
新規連結等に伴う 現金及び現金同等物の増加額 (E)		0	-	0													
現金及び現金同等物の増減 (F=C+D+E)		<b>81</b>	<b>356</b>	<b>275</b>	期首 622 第1四半期末 541												

損益計算書(単体)

単体参考資料

(単位：億円)

項目	平成17年度 第1四半期	平成16年度 第1四半期	増減	備考
営業収益	2,058	2,073	14	運輸収入内訳
運輸収入	1,840	1,852	11	鉄道
運輸附帯収入	55	56	0	定期
関連事業収入	43	45	1	定期外
その他収入	118	119	1	荷物
				船舶
				合計
				関連事業等収入内訳
				いわゆる関連事業収入
				運輸附帯収入
				構内営業料
				広告料
				高架下等貸付料
				駐車場収入等
				関連事業収入
				不動産賃貸収入
				その他
営業費用	1,746	1,781	34	
人件費	699	720	20	社員数減
物件費	626	625	1	業務費・修繕費増、動力費減
線路使用料等	61	62	1	
租税公課	134	143	9	固定資産税減
減価償却費	223	228	4	
営業利益	312	292	20	
営業外損益	89	97	7	
営業外収益	6	5	1	
営業外費用	96	102	6	支払利息減
経常利益	222	194	27	
特別損益	16	1	18	
特別利益	172	21	150	工事負担金等受入額等
特別損失	188	19	168	工事負担金等圧縮損、福知山線事故関連経費等
税引前四半期純利益	206	196	9	
法人税等	79	83	3	
四半期純利益	126	113	12	

## 鉄道旅客輸送量・鉄道旅客運輸収入の対前年比較

(単位:百万人<sup>\*</sup>、億円)

項 目		輸 送 人 キ 口			運 輸 収 入			
		平成17年度 第1四半期	平成16年度 第1四半期	対前年比 (%)	平成17年度 第1四半期	平成16年度 第1四半期	対前年比 (%)	
新幹線	定 期	165	162	102.2	20	20	101.2	
	定期外	3,386	3,315	102.1	762	746	102.2	
	合 計	3,552	3,478	102.1	782	766	102.1	
在来線	定 期	5,979	6,094	98.1	360	366	98.2	
	定期外	3,539	3,666	96.6	696	717	97.0	
	合 計	9,519	9,760	97.5	1,056	1,084	97.4	
在来線内訳	京阪神	定 期	4,747	4,871	97.5	287	294	97.8
		定期外	2,355	2,445	96.3	447	460	97.1
		合 計	7,103	7,316	97.1	734	754	97.4
	その他	定 期	1,231	1,222	100.7	72	72	100.1
		定期外	1,184	1,221	97.0	249	257	96.9
		合 計	2,415	2,444	98.8	321	329	97.6
全社計	定 期	6,145	6,256	98.2	380	386	98.4	
	定期外	6,926	6,982	99.2	1,458	1,463	99.6	
	合 計	13,071	13,238	98.7	1,839	1,850	99.4	

貸借対照表(単体)

(単位：億円)

科 目		平成17年度 第1四半期末	平成16年度 期 末	増 減	備 考
資 産 の 部	流 動 資 産	1,067	1,279	211	短期貸付金 102 繰延税金資産 77
	固 定 資 産	19,413	19,701	287	
	鉄道事業等固定資産	16,657	16,838	180	資産増 230 資産減 410 (うち減価償却費 223)
	建設仮勘定	524	678	154	
	投資その他の資産	2,232	2,184	47	繰延税金資産 35
合 計		20,481	20,980	498	

科 目		平成17年度 第1四半期末	平成16年度 期 末	増 減	備 考
負 債 ・ 資 本 の 部	流 動 負 債	4,262	4,754	492	
	1年以内長期借入金等	728	659	69	
	未払金等	3,534	4,095	561	未払金 666 短期借入金 88
	固 定 負 債	11,418	11,482	63	
社債・長期借入金等	9,386	9,482	95		
退職給付引当金	1,850	1,817	33	長期債務残高 H17第1末... 10,115	
その他の固定負債	181	182	1	H16末... 10,142 26	
負 債 合 計		15,681	16,237	556	
資 本 の 部	資 本	1,000	1,000	-	
	資 利	550	550	-	
	利 益	3,211	3,154	56	
	利 益 準 備 金	113	113	-	
	固 定 資 産 圧 縮 積 立 金	89	76	13	
	別 途 積 立 金	2,400	2,100	300	
	四半期(当期)未処分利益	608	865	256	
その他有価証券評価差額金	38	38	0		
資 本 合 計		4,800	4,743	57	
合 計		20,481	20,980	498	

# 平成17年度第1四半期決算について

西日本旅客鉄道株式会社

## 1. 連結決算

### (1) 損益計算書

営業収益	2,937億円、14億円増(0.5%)	連単倍率 1.43
	当社が運輸収入等の減により14億円の減となったものの、旅行業、JR京都伊勢丹等の子会社の増収で補い、連結では14億円の増収。	
営業利益	340億円、27億円増(8.7%)	
	当社、子会社とも増益。当社は人件費減、租税公課の減等により20億円の増益。子会社は、旅行業の改善等が寄与して6億円の増益。	
経常利益	247億円、35億円増(16.7%)	
	長期債務縮減による支払利息減等により増益。	
四半期純利益	138億円、5億円増(4.0%)	
	当社では福知山線事故関連経費の計上により、子会社では前期に株式売却があったこと等により特別損益が悪化。	
	連単倍率1.10	

### (2) セグメント情報

・ 運輸業	鉄道事業の運輸収入減等により14億円の減収も営業費用減により営業利益は19億円増加。
・ 流通業	卸売業が減収も物販飲食業の増収等により営業収益、営業利益とも前年並み。
・ 不動産業	不動産販売・賃貸収入増等により増収増益。
・ その他事業	旅行業等での増収に新規連結による増収が加わり増収。営業損益も改善。

### (3) 貸借対照表

・ 総資産	2兆3,008億円、634億円減(2.7%)
・ 長期債務残高	1兆772億円、44億円減(0.4%)

### (4) キャッシュ・フロー計算書

・ 営業活動	前年同期に比べ退職金支払額が減少したこと等により185億円改善、9億円のキャッシュ・アウト。
・ 投資活動	前年同期に比べ設備投資額が減少したこと等により、223億円改善、56億円のキャッシュ・アウト。
・ 財務活動	長期債務の削減や配当金の支払い等により、15億円のキャッシュ・アウト。

## 2. 単体決算

### (1) 損益計算書

営業収益	2,058億円、14億円減(0.7%)
	運輸収入は、定期外収入が対前年5億円(0.4%)、定期収入が対前年6億円(1.6%)となった。
	新幹線は、16億円増(2.1%)、在来線は、27億円減(2.6%)
営業利益	312億円、20億円増(6.9%)
	営業収益は減収となるも、社員数減による人件費の減、租税公課等の減により増益。
経常利益	222億円、27億円増(14.3%)
	長期債務縮減による支払利息減で増益。
四半期純利益	126億円、12億円増(11.1%)
	福知山線事故関連経費の計上により特別損益が18億円悪化。

### (2) 貸借対照表

・ 総資産	2兆481億円、498億円減(2.4%)
・ 長期債務残高	1兆115億円、26億円減(0.3%)

## 3. 平成18年3月期(通期)の業績予想

福知山線塚口・尼崎間における快速電車の脱線事故により、相当の費用が見込まれますが、現時点においては、今後必要な金額等を合理的に見積もることが困難であることから、業績予想は、平成17年4月27日に公表した内容を変更しておりません。